

論点等説明シート

事業名

医療費情報総合管理分析システムに要する経費

予算の状況
(単位:百万円)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
予算額(補正後)	149	220	318	243	
執行額	116	132	178		
執行率	78%	60%	56%		

事業についての論点等

(事業の概要)

医療保険制度の医療費データを制度別、地域別、保険者別、月別等に総合的、体系的に管理することにより、医療費分析を迅速かつ的確に行う。医療保険制度の円滑な運営のため、健康保険、船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療に係る事業状況並びに実態調査等を集計・分析する。

〔実施主体〕国

〔実施方法〕委託・請負

(論点)

① 医療費統計業務として公表の早期化や、わかりやすい情報開示のあり方について検討を行うべきではないか。

【参考】政府の統計調査は、月次調査は60日以内、年次・周期調査は1年以内に公表することを原則目標としていて、概ね達成しているものの、健保事業状況報告(月次)は約5ヶ月から7ヶ月後、国保実態調査報告(年次)の公表は約1年2ヶ月後の公表となっており、一部公表に時間を要している調査がある。

② 事業内容や単価当たりコストが妥当か検討を行うべきではないか。

【参考】1事業(※)あたりの平均コスト(単位:百万円)

平成25年度	26年度	27年度	28年度
14	11	12	16

※ 医療費情報総合管理分析システムは、医療保険制度の医療費データを制度別、保険者別、月別等に管理するため、9つのサブシステムで構成されている。このシステムを使用して、医療保険制度の事業状況報告(月報・年報)及び各種実態調査等を合わせて、毎年11事業の集計分析・公表を行っている。

③ 現在の成果目標はアウトプットの的であり、事業目的の達成度合いを把握するために適切なものを設定すべきでないか。

【参考】設定されている成果目標

健康保険・船員保険、国民健康保険及び後期高齢者医療の事業状況並びに実態調査等の集計・分析数